



くじ 市議会だより

第 25 号

2011年
(平成23年)
11月15日発行

— サッパ船で侍浜海岸の遊覧に向う侍浜小の児童 —

主な内容

- ・ 市議会を読む 9月定例会…………… 2～3
- ・ 委員会の審査から…………… 4～5
- ・ 一般質問・各会派の関連質問…………… 6～13
- ・ 意見書／傍聴席からひとこと…………… 14

発行／久慈市議会 編集／久慈市議会広報編集特別委員会 電話（直通）0194-52-2188
〈ホームページ〉 <http://www2.city.kuji.iwate.jp/gikai/>

市議会を読む

◎第2回市議会9月定例会

平成22年度決算

歳出決算総額270億1614万円を認定

中町イベント広場で開催された
九戸地方日本短角種子牛共進会



第2回市議会9月定例会は、9月29日から10月17日までの19日間の会期で開かれました。

9月定例会では、平成22年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算の認定議案10件ほか、平成23年度一般会計補正予算、荷軽部小と戸呂町小を山形小に統合する条例改正など市長提出議案28件と議員発議案1件について審議し、すべての議案を認定、可決、同意しました。

平成22年度各会計決算については、決算特別委員会を設置し審査を行いました。また、一般質問は、会派を代表して5人が、個人で3人の議員が登壇して質問を行いました。

補正予算

●平成23年度一般会計補正予算（第3号）

今回の補正は、東日本大震災に伴う災害対応経費を中心に計上し、既定の予算額に歳入歳出それぞれ33億3502万9千円を追加し、補正後の予算総額を248億5208万3千円とするもので原案の

とおり可決しました。

主な補正の内容は次のとおりです。

・地震津波等災害復旧経費

震災廃棄物（がれき）撤去

経費ほか

15億5041万8千円

・森林組合機能回復支援事業費

東日本大震災に伴う森林組合事務所の復旧費用補助

20万円

・水産業共同利用施設復旧支援事業費補助金

東日本大震災に伴う漁協・加工協の機械器具等の復旧費用

7518万4千円

・製水保管施設等早期復旧支援事業費補助金

東日本大震災に伴う漁協冷凍工場の復旧費用

1億1455万4千円

・共同利用漁船等復旧支援対策事業費補助金

東日本大震災に伴う復旧費

道路橋梁災害復旧費（新街橋通り線、久喜漁港線、深田

東日本大震災に伴う漁船等の復旧費用

2億7907万2千円

・水産業経営基盤復旧支援事業費補助金

東日本大震災に伴う各生産部の共同利用施設等の復旧費用

7367万7千円

・公民館類似施設社会教育事業費補助金

東日本大震災に伴う元木沢公民館、夏井駅前大湊公民館改修補助金

1201万9千円

・現年発生補助災害復旧事業費

東日本大震災に伴う復旧費

道路橋梁災害復旧費（新街橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

橋通り線、久喜漁港線、深田

議案等審議結果

第2回市議会9月定例会

【決算】

- 平成22年度久慈市一般会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市土地取得事業特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市老人保健特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市魚市場事業特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成22年度久慈市水道事業会計決算

【補正予算】

- 平成23年度久慈市一般会計補正予算（第3号）
- 平成23年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成23年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成23年度久慈市水道事業会計補正予算（第3号）
- 平成23年度久慈市一般会計補正予算（第4号）

【条例等】

- 市税条例等の一部を改正する条例
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 中心市街地における商業基盤施設に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
- 久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例
- スポーツ推進審議会条例
- 市道路線の認定に関し議決を求めることについて
- 市道路線の変更に関し議決を求めることについて（4件）
- 財産の取得に関し議決を求めることについて

【人事】

- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて（2件）

【議員発議】

- 灯油高騰への緊急対策を求める意見書の提出について

| | |
|---|--------|
| 認 | 定=賛成多数 |
| 認 | 定=全会一致 |
| 認 | 定=賛成多数 |
| 認 | 定=全会一致 |
| 認 | 定=賛成多数 |
| 認 | 定=全会一致 |
| 認 | 定=全会一致 |
| 認 | 定=全会一致 |
| 認 | 定=全会一致 |

| |
|-----------|
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |

| |
|-----------|
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |

| |
|-----------|
| 同意=全会一致 |
| 原案可決=全会一致 |

長根線） 2791万3千円
 漁港施設災害復旧費（川津内（前浜）漁港、川津内漁港、横沼漁港、白前（本波）漁港、舟渡漁港、小袖漁港、麦生漁港、久慈湊漁港）
 4億3900万円
 消防通信施設災害復旧費
 6億6250万円

号）、公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）、水道事業会計補正予算（第3号）と追加提案された一般会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決しました。

り可決しました。
●市税条例等の一部を改正する条例
 現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、市税条例の一部改正と過去に改正した市税条例の一部を改正する条例の附則の改正をすするものです。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 今回の東日本大震災の発生を受けて、災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、兄弟姉妹を加えるものです。
●中心市街地における商業基盤施設に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部

を改正する条例
 中心市街地の活性化に関する法律の改正に伴い引用条項を変更するものです。
●久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例
 荷軽部小学校及び戸呂町小学校を来年3月31日で廃止し4月1日から山形小学校と統合するものです。
●市道路線の変更に関し議決を求めることについて（4件）

条例等

人事

市道葛堀線、森線、大川目小北通り線、森田中線の起終点の変更と森田中線の路線名を五日市田中線に変更するものです。
●人権擁護委員候補者に香木正さん（京の森）、三河えり子さん（中央）を推薦することに同意しました。

議員発議案

●灯油高騰への緊急対策を求める意見書の提出については、原案のとおり可決しました。
 詳しくは14ページの「意見書」をご覧ください。

委員会の審査から

総務、教育民生、産業建設の各常任委員会は10月7日に、決算特別委員会は10月11日・12日にそれぞれ委員会を開き審査しました。

総務

総務委員会に付託された議案1件を審査しましたので、その概要を紹介します。

●財産（圧雪車）の取得に關し議決を求めることについて

日本ケール株式会社東北支店から平庭高原スキー場のゲレンデ整備に使用する圧雪車1台を、2937万9000円で購入しようとするものです。

更新する圧雪車は、平成7年に、2832万5000円で取得したもので、今年で16年目となり、圧雪車の通常の耐用年数である概ね10年を経過しており、今後、修繕費用等の増加が見込まれるほか、適切なゲレンデ整備の確保及び安全管理等を勘案し、更新するものです。

【問】平庭高原スキー場の経営状況はどのようになっているのか。

【答】管理運営については、

平庭観光開発株式会社に委託しており、平成22年度決算によると、収入は市からの委託料1423万円、スキー場利用料1316万円、レストハウス千春の売上1000万円など、合わせて3740万円、支出は人件費1760万円、事業費650万円、事務費120万円など、合わせて3192万円、差し引き50万円の収益である。

そのほか、リフト利用者数と利用料収入の推移、圧雪車の年間稼働日数と維持管理経費、ゲレンデなど土地借上料の算定根拠などについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり決しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案4件及び請願1件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●スポーツ推進審議会条例

昭和36年に制定されたスポーツ振興法が50年ぶりに全部改正され、スポーツ基本法が施行されたことに伴い、スポーツ推進審議会を設置するものです。

【問】スポーツ振興法が全部改正になった理由は何か。

【答】国の提案理由によると、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与するため、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定める必要があるとなつてゐる。

そのほか、審議会委員の任期、委員の選任基準、会議の開催見通しなどについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり決

しました。



荷軽部小を視察する教育民生委員会

産業建設

産業建設委員会に付託された議案6件について審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●市道路線の認定に關し議決を求めることについて

大川目町第11地割地内を起点、第26地割地内を終点とする、一般農道大川目線を山口五日市線として新たに市道に認定するもので、国道281号にアクセスする延長1612m、幅員5.5mの路線です。

【問】道路管理者である市が

交差点へ設置できる道路標識等にはどのようなものがあるのか。

【答】「道路交差点あり」の標識や反射鏡等の設置のほか、路面へのイメージハンブ（擬似的凹凸）や路側帯状点線のマーキングであり、「一時停止」などの交通危険箇所への規制標識は岩手県公安委員会が設置する。

そのほか、農道で整備された路線の市道移管への考え方などについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり決しました。



産業建設委員会の視察の様子

平成22年度 決算報告



澤里決算特別委員長

平成22年度の一般会計と8つの特別会計、1つの企業会計の決算を審査するため、議

長及び議会選出の監査委員を除く議員で構成する決算特別委員会（澤里富雄委員長）を設置し、審査を行いました。歳入総額は、276億4772万円、歳出総額270億1614万円となり、認定に付されたすべての会計の決算は、認定されました。

各会計の決算額

| 区 分 | | 歳 入 | 歳 出 | |
|------------------|-----------------|------------|------------|-----------|
| 一 般 会 計 | | 203億9154万円 | 196億9638万円 | |
| 特 別 会 計 | 土 地 取 得 事 業 | 2338万円 | 2338万円 | |
| | 国民健康保険 | 事業勘定 | 42億792万円 | 41億8206万円 |
| | | 直営診療施設勘定 | 2億6491万円 | 2億6491万円 |
| | 老 人 保 健 | 130万円 | 130万円 | |
| | 後 期 高 齢 者 医 療 | 2億4989万円 | 2億4978万円 | |
| | 介 護 サ ー ビ ス 事 業 | 8243万円 | 8243万円 | |
| | 魚 市 場 事 業 | 2885万円 | 2885万円 | |
| | 漁 業 集 落 排 水 事 業 | 2億3887万円 | 2億3133万円 | |
| | 公 共 下 水 道 事 業 | 10億6601万円 | 10億4946万円 | |
| 小 計 | | 61億6356万円 | 61億1350万円 | |
| 企 業 会 計 | 水 道 事 業 | 収益的収入及び支出 | 6億9286万円 | 6億6877万円 |
| | | 資本的収入及び支出 | 3億9976万円 | 5億3749万円 |
| 合 計 | | 276億4772万円 | 270億1614万円 | |

※1万円以下の金額は、端数調整しています

歳出総額は270億円

市の基本的な経費である一般会計の決算額は歳入が203億9154万円、歳出が196億9638万円となり、前年度と比べると歳入歳出ともに約5億円の減額となりました。

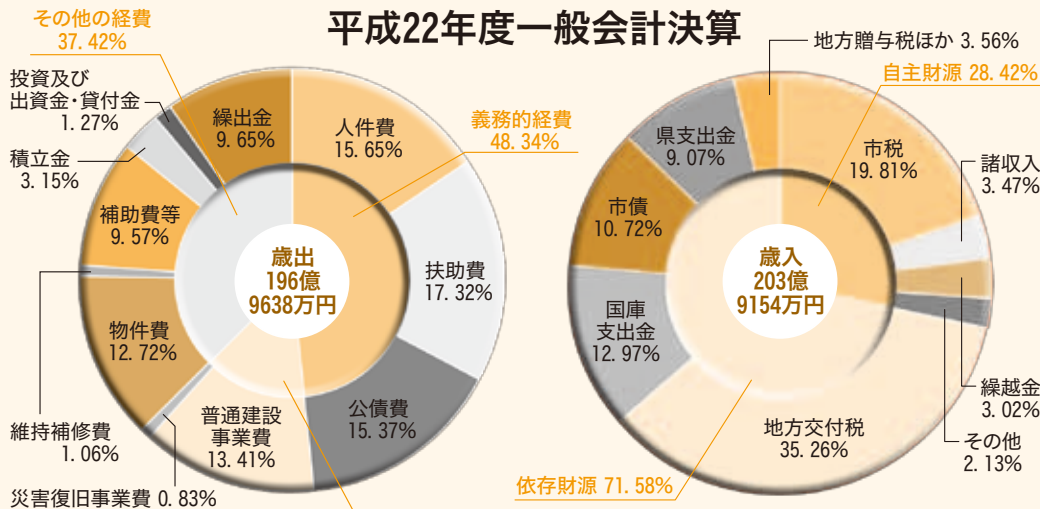
国民健康保険などの特別会計の総額は歳入が61億6356万円、歳出が61億1350万円に、水道事業会計は総収益が6億6284万円、総費用が6億5629万円となりました。

一般会計の決算

一般会計の歳入は、総額203億9154万円。このうち自主財源は、市税40億3887万円（19・81%）など全体の28・42%、残りの71・58%は国などから交付される補助金などの依存財源となっています。

歳出は、総額196億9638万円のうち人件費、扶助費、公債費などの義務的経費

平成22年度一般会計決算



■ 市民一人当たりに使われたお金
市民一人当たり 518,613円
(一般会計の歳出総額÷市の人口)

※市の人口=37,979人
(平成23年3月末住民基本台帳人口)

■ 市税の内訳と一人当たりの負担額

- ◆固定資産税 23億6021万円 (58.44%)
- ◆市民税 13億7174万円 (33.96%)
- ◆市たばこ税 2億2018万円 (5.45%)
- ◆軽自動車税 7859万円 (1.95%)
- ◆鉦産税、入湯税 815万円 (0.2%)
- 合計 40億3887万円

市民一人当たり 106,345円
(市税の総額÷市の人口)

が全体の48・35%を占め、続いて物件費などのその他の経費が37・41%、道路や施設整備に使われる投資的経費が14・24%となっています。

市税の総額を市の人口で割ると、市民一人当たりの負担額は、10万6345円となります。また、歳出の総額を市の人口で割った市民一人当たりに使われたお金は51万8613円になります。

一般質問

新政会代表 木ノ下 祐 治 議員

復興計画における津波被災区域の土地利用は

市長―震災前と同じ場所でのまちづくりを基本とする

【問】久慈市復興計画を進めるにあたり、津波により被災した海岸付近に居住する市民に対して、先人の体験を教訓とし、再び同様の被災をしないための高台移転を実現するべく、行政として主導的な役割を考えては。



海岸に隣接している久慈湊地区

【答】基本的には現在のコミュニティを壊すことなく復興を図っていきたい。私権の制限

は限定的であるべきと考え、地域の合意形成を図りながら、今よりさらに安全なコミュニティ形成に向けて進めることが行政の果たすべき役割であると考えている。

【問】再生可能エネルギーの研究、取り組みを積極的に進めようとしているが、方向性についての考え方は。

【答】大震災での教訓をもとに、環境に優しく、非常時にも自立できるエネルギーシステム構築が必要であり、当地域の資源を活用した太陽光発電、洋上風力発電等の導入を幅広く検討し、他地域にも貢献し得る再生可能エネルギーの活用・供給拠点としてのまちづくりを目指したい。

【問】山林の除間伐に交付される補助金が5年ほど前から減

少しており、山林の整備が思うようにできない状況にある。補助金減少の要因は。

【答】除間伐などの整備に交付される森林整備事業補助金は、減少傾向にあるが、補助率の高い、いわて環境の森整備事業及び森林整備加速化・林業再生基金事業の2事業で実施されている。

肉用牛等への放射能被害は

【問】肉用牛等の畜産経営に大打撃を与えた放射能被害の実態をどのようにとらえているのか。また、全頭検査による出荷停止が続いたが、どの程度の影響があったのか。

【答】8月1日から、乳用牛及び肉用牛の出荷制限のため、約1か月間出荷が停止し、販

売収入の減少や出荷適期を超えた分の経費増により、約1239万円の被害額と推計している。その後も枝肉や子牛価格の下落で、畜産農家の経営に悪影響を及ぼしている。

【問】八戸・久慈自動車道の用地補償の契約について、地権者との締結が思わしくない状況と聞いているが、現在の用地買収の契約状況はどのようになっているのか。

【答】八戸・久慈自動車道は、1年以内の完成を目指し、久慈北道路7.4kmに着手している。契約の進行状況は交渉者101名のうち、待浜地区は51%、夏井地区は35%、合わせて47.5%になっており、相続関係、補償金額などの課題はあるが、おおむね順調に推移している。

一般質問は、10月5日・6日の2日間行われ、各会派を代表して、木ノ下祐治、砂川利男、下川原光昭、小柳正人、小野寺勝也の各議員が代表質問を山口健一、梶谷武由、高屋敷英則の各議員が個人質問を行いました。

また、各会派では関連質問を行いました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

各会派の 関連質問

新政会

◆上山 昭彦 議員

三陸北縦貫道路の進捗状況は

【問】 おおむねのルートが提示された三陸北縦貫道路の出入り口と接続道路の整備見通しは。

【答】 国では、当該道路を復興道路として、10年以内に全線を整備する方針を示し、500m幅での計画路線と上長

下水道事業を見直し負担軽減を検討すべき

市長一幅広い視点で計画を定めたい



久慈市浄化センター

【問】下水道は昭和28年に着手してから28年を経過しており、下水管の耐用年数は30年から40年といわれることから今後下水管の入替時期になる。下水道全体計画が完了しないうちに入替工事が始まる事から終わりのない事業といわれる由縁である。計画を見直し、合併浄化槽に変えて、将来に財政負担を残さないために国の通知に基づく計画の見直しをすべきでは。

【答】老朽管の更新は、今後考えて行かなければならない課題であるが、認定エリア内の整備も、重要な課題である。現在の計画を中断し、事業を取りやめるということではなく、もう少し幅広い視点で今後の計画を定めていきたい。

鳥獣被害防止特別措置法を活用すべき

【問】畜産の産地化を推進するとしているが産地化を推進するには、生産基盤がしっかりしていなければならない。生産基盤が脅かされる原因の一つに鳥獣被害がある。全国的な被害で見れば200億円にもなることから、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律に基づく計画を作成し、都道府県にかわって鳥獣の捕獲許可の権限を市が行使できるようにすべきと思うがどうか。

【答】近年はクマの出没が多く、飼料作物の被害が増加しており、県と連携を図り電気柵の設置を呼びかけているところである。

法に基づき計画を作成すれば市町村が独自に捕獲できることは承知しているが、計画作成に至らなくても鳥獣被害対策を推進できるものと考えている。

【問】台風15号による床上浸水についても全戸に被災者生活再建支援法が適用されるべきでは。

【答】当市に災害救助法が適用される被害は、全壊60戸、床上浸水では3倍の180戸が基準であり、当市の台風15号による被害は国が定める災害救助法の適用にならない状況である。災害救助法の適用にならないことから被災者生活再建支援法の対象にもならない。

【その他の質問項目】復興推進室設置及び復興推進のあり方／被災者、被災企業復興計画実施／新たな視点による新たなまちづくり／台風15号被害／会派の部屋の整備／放射性物質と風評被害対策／宇部川地区は場整備／いわて森のトレー／小中学校の津波対策／新野球場建設

内地区など出入り口のおおむねの位置を公表した。市として早期整備について要望してきたが今後は、受け入れ態勢を整えながら、工事が早く着工できるよう努めたい。

【その他の質問】海産物への放射能被害 ほか

◆泉川 博明 議員

堤防かさ上げ整備計画は

【問】津波や自然災害防止に関わる沿岸の河川堤防及び防潮堤のかさ上げ整備計画は。

【答】大震災による被災状況を踏まえ、各河川の堤防及び防潮堤のかさ上げに関し、県へ早期に実現することを要望しており、久慈湾に関する防潮堤等のかさ上げについては、10月中旬に公表されると聞いているほか、ソフト面の整備にも努力していく。

また、久喜地区の防潮堤は、全国一律の安全基準の中で、以前より2m加算し14mの方向性が出された。

【その他の質問】小袖地区の排水処理施設復旧 ほか

◆澤里 富雄 議員

居宅介護施設の建設計画は

【問】小規模多機能型居宅介

一般質問

創政会代表 下川原 光 昭 議員

市役所来庁者用駐車スペース確保策は

市長―来庁者用駐車場は常に確保している

【問】市役所駐車場における来庁者用駐車スペースが減少していないか。

また、西側の自動支払い機がある場所に空きスペースがない状況にあり、この場所に数台分のスペースを確保をすべきでは。

【答】緊急雇用対策事業等の影響により、例年より駐車台数が多い傾向にあるが、来庁者用の駐車場として常に庁舎正面に100台分のスペースを確保している。またイベント開催時や確定申告の時期などあらかじめ混雑が予想される場合は、アンバーホールの駐車場の活用や職員のマイカー通勤自粛など来庁者への不便が生じないよう配慮しているところである。



市役所駐車場

いては、工夫をして確保できるように検討したい。

【問】震災後における津波避難場所の見直し状況及び整備見通しを示せ。

【答】市内に指定している避難場所について実態調査を実施し、環境整備の検討を重ねている。一昨年から引き続き開催している住民ワークショップを今後も開催し、住民の意

見等を反映しながら適切な避難場所の整備について検討を重ねていきたい。

震災教訓による今後の防災を

【問】震災の教訓を後世にどのように残し伝え、今後の減災、防災にどのように生かしていくのか。

【答】東日本大震災発生から今日まで災害の応急対策、災害復旧、被災者支援、復興の取り組みなどを実施し、今後も全力を傾注したい。今回の未曾有の災害を通じて得た市民の声、当市の行動記録、市職員が現場で得た体験など、今後の災害への備えに極めて参考になることから、これらを記録編集し、保存しながら防災計画等、市の各種計画に反

映させ、今後の減災、防災に役立ていきたい。

【問】市道下長内旭町線と門前源道線の交差点への信号機設置の見直しは。

【答】市道下長内旭町線と門前源道線の交差点は、市道の供用開始に伴い、交通量が多くなり事故発生が危惧されることから信号機設置について岩手県警察本部に要望している。今般、久慈警察署からは、当該交差点の信号機設置業者が決定し、12月までに設置工事が終了見込みであると聞いている。

【その他の質問項目】台風15号による被害／災害用備品の整備状況／し尿処理場の整備／湊地区防潮堤のかさ上げ／田屋地区久慈川左岸堤防のかさ上げ／新野球場の建設 ほか

護施設の建設計画は。また、施設の種別ごとの利用料金を公表すべきでは。

【答】現在、民間による小規模多機能型居宅介護施設9床と、グループホーム2ユニット18床の複合施設について、今年度中の完成を目標に整備しており、今後も久慈広域連合において策定中の第5期介護保険事業計画で検討されていく。施設の利用料等は広域連合等と協議し、市民にわかりやすい情報を整えていく。

【その他の質問】がれきの処理 ほか

◆中平 浩志 議員

台風15号の被害状況と対応は

【問】台風15号の被害状況と今後の対応及び新築町等常襲浸水地域への移動式大型排水ポンプの常備を。

【答】被害状況は、9月27日現在、住家被害では一部損壊2棟、床上浸水105棟、床下浸水139棟、林道被害は約2750万円、総被害額は約2億8000万円となっている。今後は、関係機関と連携し、被災した施設の早期復旧等に向け鋭意努力したい。移動式大型排水ポンプを地域

八戸・久慈自動車道早期開通の方策は

市長一関係市町村と連携し国に直接要望を行う



八戸・久慈自動車道久慈道路

【問】八戸・久慈自動車道を復興道路として早期開通を望むが、早期開通実現のための方策は。

【答】復興道路について、国土交通大臣は、7年程度で道路網を連結させたい意向を表明している。

市としては、復興期成同盟会や八戸・久慈自動車道建設期成同盟会等を通じて、関係市町村と連携を図り、早期全線開通に向けて、東日本大震災復興対策本部及び国土交通省へ直接要望を行うなど、積極的活動を展開しているところである。

【問】やませ土風館と地元市街地商店街との相乗効果は。

【答】市観光物産協会、商工会議所において、商店街と連携した新規の回遊性向上のためのイベント等を実施している。開館後の歩行者通行量が増加傾向を見せていることから、一定の相乗効果があったと認識している。関係団体で新たなイベントの企画も予定しておりさらなる活性化が図られるよう働きかけていきたい。

【問】表町から川貫、大沢までの豪雨による恒常浸水地区への排水ポンプ場設置など、雨水排水対策は。

【答】当該地区には、5か所の雨水排水ポンプ場の計画があり、そのうち中央、西の沢の2か所のポンプ場整備が完了しているが、全箇所が整備されるまでは、仮設排水ポンプにより対応していきたい。台風15号では、排水対策未整備地区から大量の雨水流入により浸水被害が拡大したとらえていることから逐次整備に取り組んでいきたい。

【問】川貫、西の沢地区の生活道、雨水排水施設、汚水処理

施設などの生活基盤整備は。

【答】道路整備については、新たな市道認定の可能性を勘案しながら取り組みたい。

雨水排水施設については、川貫地区において、ポンプ場の用地確保の取り組みを継続している。

汚水処理施設については、川貫西側地区の現地の状況を見極めながら検討していきたい。

防災教育の充実を

【問】当市における防災教育の現状と今後の教育方針は。

【答】防災教育は、安全教育の一つとして、避難訓練中心の指導を行ってきたが、東日本大震災の経験から、見直しが必要である。

今後、防災に関連した知識、技能、態度の総合的な学習を推進するとともに、あらゆる場面を想定した訓練を取り入れ、自らの安全を確保し、他の生命も尊重する積極的な防災態度を身につけた児童・生徒の育成を図りたい。

へ常備導入することについては、今後、検討していきたい。
【その他の質問】岩手県産業復興機構の債務買取 ほか

◆中塚 佳男 議員

震災によるがれきの処理は

【問】震災後半年以上経過したが、集積されたままのがれきの処理計画は。

【答】平沢の仮置き場のコンクリート殻の処分や家電のリサイクル処理が終了しており、現在は災害廃棄物の粗分別を行っている。少量のがれきは

広域連合の焼却場で処理を行いながら、今後は、県の計画に基づき市の処理計画を策定し、早期に処理を行いたい。

市内での処理が困難な災害廃棄物は、県内外の処理施設を活用した広域処理が必要となることから、県による他自治体との協議が進められている。
【その他の質問】市議知事及び県議選挙の投票率 ほか

政和会

◆小倉 建一 議員

野球場整備国体に合うか

【問】岩手国体が予定どおり開催された場合に野球場建設が国体に間に合うか。

一般質問

日本共産党久慈市議団代表

小野寺 勝也 議員

放射能汚染の検査体制・方法は

市長―市内125か所を調査し、結果は公表していく

【問】東京電力福島原発事故によって大量の放射性物質「死の灰」が放出され、その規模は広島型原爆の20個分、セシウム137なら168個分と莫大な量に及んでいる。「被爆は少なければ少ないほど良い」という大原則に立った対応が必要であるが、市の検査体制、検査方法、結果の公表について示せ。



小鳩公園で行った放射線測定

【答】検査体制は今後とも公共施設を中心に調査を実施していくが、今回、保育園、公民館、公園を含め市内125か所を調査し、結果は公表していく。国において市営魚市場に水揚げされた水産物を週1回の割合で採取し検査している。いずれの検査結果も国の暫定規制値以下となっている。

【問】3・11被災の復興では自宅や店舗、工場を失った被災者への支援、補償の拡大が大事である。仮設住宅の入居期間の延長及び市営住宅の建設見直しは。

【答】仮設住宅の存続期間は2年3か月となっているが、必要に応じて県などの許可を得て1年ごとの延長が可能であり、入居者の意向を踏まえながら対応したい。市営住宅の

消防屯所建設に補助増額を

建設は計画に基づき優先度や財政状況等を考慮しながら整備を図っていきたい。

【問】地域防災の要をなすのが消防体制である。消防屯所建設への補助増額は。

【答】消防屯所改築時に1件200万円を上限に補助金の交付をしているが、消防団活動のさらなる支援の観点から、今回の大震災を機に改善の方向で検討していきたい。

【問】お金がなくても病院にかかれる国保医療費窓口負担減免制度が今年4月から発足した。国の基準は厳しいものだが制度自体は歓迎すべきものである。この制度が利用されないのはなぜか。

【答】現段階で減免等の基準に該当する世帯がなかったものであり、制度の拡充は国に要望するとともに、制度は広報等で知らせていきたい。

【問】市道日吉町堀線の小久慈橋の架け替え又は歩道橋の設置、市道宇部岩瀬張線の改良工事の見直しについて示せ。

【答】小久慈橋は現在、橋梁長寿命化修繕計画を策定中であり、この計画に従い修繕工事を実施する予定となっている。歩道橋設置の必要性は認識しているが検討課題である。市道宇部岩瀬張線の改良舗装の進捗率は63%であり、今年度は古山地区で100mの改良工事を実施しており、小久慈町側からの整備の可能性を検討し早期実現に向け取り組んでいきたい。

【答】これまで建設候補予定地の地権者への意向を調査し、今後は用地の詳細な測量・調査等を行うこととなる。東日本大震災に係る復興計画の実施において防災施設としての活用を含め、重要度及び優先度を考慮し、スケジュール等を検討したいと考えているが、国体が予定どおり開催される場合は、スケジュールの見直しが必要になる。

【その他の質問】●防災公園と物流拠点の整備 ほか】

◆大沢 俊光 議員

森のトレー債権回収方法は

【問】平成22年度決算におけるいわて森のトレー補助金返還金の収入未済額は15億3400万円となっている。債権回収は市民が理解納得するような法的措置を取るべきではないか。

【答】顧問弁護士と諸条件について協議を続けており、回収に努力している。施設処分状況は、工場等に抵当権を有する債権者が、盛岡地方裁判所に対して担保不動産競売手続を申し立て、入札手続が進んでいる。

【その他の質問】●宇部川地区ほ場整備工リア拡大 ほか】

明年度の緊急雇用対策は

市長一重点分野雇用創出事業などで対応したい

【問】長引く不況や東日本大震災の影響により失業者が増加している。当市では県の基金事業を活用して緊急雇用対策事業を行っており、この事業は今年度で終了すると聞いているが今後の雇用対策は。

【答】来年度以降の緊急雇用創出事業は、メニューの一つである「重点分野雇用創出事業」が継続されることになっている。引き続き緊急雇用創出事業を活用した雇用対策に積極的に取り組んでいきたい。

【問】災害時に利用できることから住宅用太陽光発電が脚光を浴びているが、初期投資が高額であり一般家庭に普及していないことから市でも太陽光パネル設置に助成する考えはないか。

【答】住宅用太陽光発電システムは、災害等により停電した場合にも独立電源としての利用が期待されている。

市としても7月に策定した復興計画において再生可能エネルギー等の活用に取り組みこととしている。現在、復興計画に係る実施計画の策定を進めているところであり、住宅用太陽光発電システムについても助成制度のあり方等について検討していきたい。

【問】東日本大震災の影響で被災地などの観光客が大きく落ち込んでいる中、国土交通省では明年仮称「東北観光博」を実施したいとしている。当市では観光振興をどのように考えているのか。

【答】国土交通省では深刻な北地方の観光振興に向け、東北全体を博覧会場に見立てた「東北観光博」を実施するとしている。当市としても観光客の落ち込みは非常に深刻な問題となっており、関係団体と連携し、観光産業の復興を目指し積極的に取り組んでいきたい。



緊急雇用創出事業を活用しているまちなか水族館

【その他の質問項目】二重ローン対策／地デジ対策／交通安全対策／介護施設の増床／雨水対策／防災教育 ほか

◆濱欠 明宏 議員

大震災での地盤沈下の影響は

【問】地盤沈下や防波堤の損壊している状況下では、どの程度の津波で今回のような被害になるのか。

【答】国土地理院等からは、場所によつて数センチの地盤沈下があるが、久慈市は地盤が隆起しているという報告を受けている。

一部防潮堤や防波堤が崩れているので、同様の津波が襲来した場合は大きな被害が生じる可能性がある。

【その他の質問】●高台移転の住民合意形成方法 ほか

創 政 会

◆藤島 文男 議員

大川目ほ場内に標識の整備を

【問】大川目地区ほ場内道路に標識等交通安全施設の整備が必要では。

【答】農道と市道との交差点において、たびたび交通事故が発生しており、市では徐行を促すための路面標示の設置、交差点周辺への警戒標識や注意看板の設置など、交通安全確保に努めている。また、一時停止線及び標識の設置についても、交通安全施設点検等

を通じ久慈警察署に要望している。

【その他の質問】●三陸鉄道の復興 ほか

◆桑田 鉄男 議員

小中学校の再編計画推進を

【問】市内小中学校の再編計画の進行状況は。

【答】これまでに麦生小中学校が平成21年4月に、枝成沢小学校が平成22年4月に、日野沢小学校及び磐小小学校が本年4月に統合した。

荷軽部小学校及び戸呂町小学校も、来年4月1日から山形小学校と統合することについて、本定例会に条例改正を提案している。

山根小学校については、山根中学校の校舎に小学校部分を増築し、平成24年4月から小・中学校併設校として再編する予定であり、これ以外の再編対象校は、既定の基本方針に基づき進めていくよう努力していきたい。

【その他の質問】●再生可能エネルギーの活用 ほか

◆下館 祥一 議員

再生可能エネルギーの活用を

【問】再生可能エネルギーの

一般質問

社会民主党 梶谷武由 議員

台風による浸水被害軽減のために河床の掘り下げを

市長―土砂が堆積した場合は河道掘削を行う

【問】台風15号により市内多数の地域で浸水被害が発生した。浸水被害を防ぐためには河川の水位を下げる必要がある。河床や河川敷を掘り下げる考えは。また、雨水排水ポンプの設置計画の見直しと現有排水ポンプの排水能力の見直しは。

【答】沢里川が土砂で8割方埋まっている場所がある、その部分の河床の掘り下げは。

【答】久慈川の河口部の高さから勾配を勘案すると河床を現状より低くすることは困難である。久慈川の流下能力には不足はないが、土砂が堆積し、河川管理上障害が生じる場合には、河道掘削を行っていく。排水ポンプの排水能力は、

過去の降水量を勘案した設計指針に基づいて計画している。今回の浸水被害の要因は長雨

と台風が重なった特異なケースであるから排水能力の見直しは考えていない。市の管理する河川については、パトロールを強化しながら堆積具合を見て、状況に応じて撤去していきたい。



台風15号により土砂が堆積した沢里川

【問】原発の事故により大量の放射性物質が放出され、6か月過ぎた現在もなお放射性物

質の放出が続き、住民の不安は解消されていない。

8月25日に市が行った調査では「小鳩公園」で0・13マイクロシーベルトとなっている。県の環境保健研究センターや他自治体に比べ数値が高いと思うが所見を示せ。

【答】エヌエス環境(株)盛岡支店に委託して調査したが文科省で示している除染の対象は1・0マイクロシーベルトであることから10分の1程度ととらえている。

【その他の質問項目】災害時における他自治体との応援体制／大震災の教訓／八戸線、三鉄の復旧予定／光ケーブルの復旧見通し／高校の通学支援バスの運行継続／仮設住宅の環境改善／震災による離職者支援／県道野田長内線の復旧見通し

活用に向けた取り組み状況と今後の推進策は。

【答】導入可能性及び運営のあり方等調査・研究すべく大学や民間事業者などと連携を図りながら再生可能エネルギーの活用を推進したい。

【その他の質問】●畜産物への風評被害

清風会

◆畑中 勇吉 議員

久慈北道路の着工見通しは

【問】久慈北道路は今年度中に部分着工をすると聞いているが、工事の間は、用地の見通しがいつしているのか。

【答】久慈北道路の用地の取得は、約50%程度となっており、用地買収の推移を見ながら集団の土地が確保できれば、着手したいと三陸国道事務所から聞いている。

【その他の質問】●避難所の備品の適正化と充実 ほか】

◆堀崎 松男 議員

国道395号の被害状況は

【問】水路崩壊により路面浸水で不通となった国道395号の台風15号による被害状況は。

【答】国道395号について

は、夏井町鳥谷地区において、通行に支障はないものの、路肩決壊1か所が確認されている。被災箇所は、国庫災害復旧事業により復旧する予定となるが、早期に復旧されるよう要望していきたい。

【その他の質問】●もぐらんぴあとまちな水族館 ほか】

日本共産党久慈市議団

◆城内 仲悦 議員

大成橋上流の堤防整備を

【問】久慈川右岸、大成橋上流の堤防未設置区間の堤防設置見通しは。

【答】当該地区の堤防設置を含め、県管理の河川整備は、これまでも重点事項として要望してきたところである。

県北広域振興局土木部からは、「堤防を設ける場合」には、新たな内水対策が必要であり、周辺地域の土地利用の状況変化などを注視しながら、緊急性、重要性を総合的に勘案し、今後、事業化の時期を検討したい」と聞いている。市としても、早期事業化に向けて引き続き強く要望をしていきたい。

【その他の質問】●防災無線の設置 ほか】

新しいまちづくりデザインは

市長—新たな視点による新たなまちづくりを基本理念に

脱原発宣言の アピール

【問】被災地からの脱原発宣言は、復興推進のための大きなアピールになるのではないかと。軽々には「脱原発」を掲げるつもりはないが、過度に原発に依存した体質からの脱却はしていかねばならないという思いがある。その思いを実現するために、再生可能エネルギーの供給基地になっていこうと強く表明している。

エネルギーの 地産地消

【問】供給基地構想は広域で取り組むべき課題である。新たに地域の自立をめざす方向性の中で、エネルギーの地産地消を図っていくべきではないか。

【答】風力エネルギーに取り組んでいる町も今回の大震災で、直接農家が電力を得ることができず、飼っていた牛が亡くなるという例があった。エネルギーの地産地消の考えは、売電だけでなく地球の環境や家庭用電力の確保など、多様な角度から有効かつ現実的な選択の道だと考えている。

心の復興をテーマにし た新たなまちづくり

【問】芸術、文化による異色のまちづくりは、くたびれたまちを再生する決め手になるキーワードだ。多様なアートを通じて地域の魅力を掘り起こし、人々のぎすぎやを深めていく交流から、新たなエネルギーが生まれてくるのではないかと。美術館が所蔵している美術品を復興支援のために貸し出して美術展を開きたいという話があった場合の対応は。



被災地のボランティアの様子

議長交際費

交際費は、議会の円滑な推進を図るため、議長等が議会を代表して外部との交際に要する経費です。

今回は平成22年度の支出状況をお知らせします。

支出内容は、議会事務局までお問い合わせいただくかホームページでご覧いただけます。

| 支出区分 | 支出区分の内容 | 件数 | 金額 |
|------|-----------------|-----|----------|
| お祝い | 祝賀会、懇談会等の祝金、祝酒等 | 17件 | 70,881円 |
| 会費 | 祝賀会、懇談会等の会費 | 20件 | 73,000円 |
| 見舞金 | 市政関係者の病気等への見舞金 | 0件 | - |
| 土産品 | 市外からの来訪者に対する土産品 | 0件 | - |
| 弔慰 | 弔慰金、生花代等 | 1件 | 5,000円 |
| その他 | 上記いずれにも属さないもの | 0件 | - |
| 合計 | | 38件 | 148,881円 |



インターネット で議会中継

インターネットから議会中継・録画を視聴することができます。

久慈市のホームページ

<http://www2.city.kuji.iwate.jp/gikai/index.html>

「久慈市議会」よりご覧ください。会議録の閲覧もできます。

議会事務局ホームページ



意見書

灯油高騰への緊急対策を 求める意見書

内閣総理大臣ほか関係大臣等へ提出

9月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などに提出しました。

灯油高騰への緊急対策を求める意見書

〔概要〕

灯油は、北国に暮らす我々にはなくてはならない生活必需品である。電力供給が不安定な中、特に冬の暖房は灯油に頼らざるを得ない。しかし、昨冬は18㍻1缶1700円を越える高値に家計は圧

迫され、今年はそれを上回る値上げが心配されている。それほどばかりではなく、東日本大震災により、多くの住民が苦しんでおり、地域経済も疲弊している中、原油の高騰は燃料や資材の値上げとなり、中小零細企業や農林漁業にも大きな打撃を与え、このままでは地域経済や住民生活に深刻な支障をきたしかねないことから、例年とは違う救援策が必要である。

さらに、東日本大震災の際

傍聴席からひとこと

われる議会であると聞いていましたので、3月11日に襲った大震災や台風15号の被害、復旧復興に係る厳しい議論が交わされるだろうと想像していました。多項目にわたっての質問、答弁を見聞して市政課題が山積していることを実感しました。

傍聴者に議会の質疑応答の発言が良く聞こえなかったのが残念に思いました。マイクの使い方もあると思います。歯切れよく声も高く、議論内容を傍聴者が良く聞き取れるよう工夫してほしい。

市議会を傍聴して

菊地 昭己 さん
久慈市山根町



私は山根公民館事業の中で企画された市議会傍聴研修会開催の館報を見て仲間入りさせてもらい傍聴させていただきました。今議会は統一地方選挙後初めての一般質問が行

に極端な灯油・ガソリン不足が生じたことから、安定供給に関して、政府の政治的責任を果たされたいことなどから、福祉灯油の拡充など、東日本大震災の被災者や低所得者、中小零細企業、農林漁業の救済となるように、緊急の支援対策を行うこと。灯油の安定的な量の確保と、適正価格に政府が責任をもつこと。在庫を削減することで出荷規制や価格の便乗上げが行われる状況を作らせないことなどの対策を緊急に講じられるように強く要請するものです。

議会を傍聴 しませんか

次回の定例会は、
12月1日からです。

日程は、本会議1日、
一般質問7日・8日、常
任委員会9日、本会議14
日の予定です。
詳しくは、議会事務局
までお問い合わせください。

編集後記

広報編集特別委員会

委員長 畑 中 勇 吉

久慈市議会9月定例会は、東日本大震災とその後実施された地方選挙の関係から、旧久慈市を含めても初めて秋まつり終了後の9月29日開会となりました。

5日と6日の一般質問は、市の復興計画や放射線対策、いわて森のトレー債権回収問題などに集中し、会派から約10年ぶりの個人質問も行われ、質問回数制限を取り払い熱心に議論が交わされました。

今、市政と議会に問われるのは、未曾有の大震災を真正面から受け止め、「新たな視点による新たなまちづくり」により将来にわたって評価され、市の大きな財産となりうる復興、飛躍を具現化することにあると思います。こうした大事な時期に不肖私が編集委員長を務め、2人の新委員を加えた7人の委員で市民の皆様と議会の様子をお届けすることになりました。どうぞ、一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。



再生紙と大豆油インキを使用しています。

平成23年11月15日 (14)